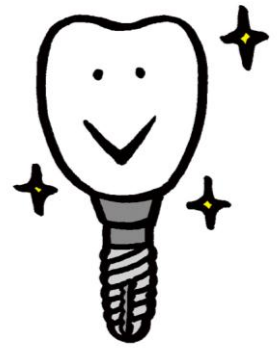


歯科インプラント治療



～津山歯科医師会～

前回に続いてインプラント治療についてお話します。前回はどのような治療か説明しましたので、今回はより具体的なお話をさせていただきます。

インプラント治療には「1回法」と「2回法」の二つの方法があります。

「1回法」はインプラントを顎の骨に埋めた直後にインプラントの一部、あるいはインプラントの上部に付けた部品が粘膜の上に露出します。一定期間（下顎2～3カ月、上顎4～6か月）経たのち型を取り義歯の作成を行います。

「2回法」ではインプラントを顎の骨に埋めた後にその上を粘膜で完全に覆い一定期間（下顎2～3カ月、上顎4～6か月）を経過後にインプラントの粘膜を再度切開してその上に部品を付け義歯の作成を行います。

インプラントを埋入した直後にインプラントに義歯（通常は仮の歯）を付ける治療方法もあります。すぐに歯が入る利点もありますが症例の選択が難しく術者の経験と技術が要求される治療です。

インプラント治療の手順についてお話ししましょう。

「インプラントの埋入手術」、「義歯の作成と装着」、「メンテナンス」と続いで行きます。

まずインプラントの埋入を行います。2回法の場合はインプラントの埋入手術とインプラント上部の粘膜を切開する2回の手術が必要です。

骨の造成が必要な場合はインプラント埋入手術のまえに別個に行う方法と、同時に行う方法があります。

インプラント手術は局所麻酔下で行います。術後には腫れや内出血が起こる事もあります。

インプラント埋入後、一定期間（下顎2～3カ月、上顎4～6か月）経た後型をとってインプラントに付ける義歯を作成し装着します。

インプラント治療の終了したのち定期的に歯科医院に通院してインプラント治療を受けた部位を含め問題がないか診てもらう必要があります。これを「メンテナンス」と呼びます。

インプラントは骨としっかり結合していますが本来の歯と比較すると粘膜との結合が弱いため感染しやすい欠点があります。インプラント周囲炎がおきると周囲の骨を吸収してインプラントの喪失につながる事もあります。

そのため歯ブラシやその他の器具を用いた患者さん自身の毎日の口腔清掃が大変重要であり、良好な状態を長期間維持するために歯科医院での定期的な経過観察「メンテナンス」が極めて重要です。

インプラント治療は、部分床義歯やブリッジといった従来の治療と比較して大きな利点のある治療方法です。

しかし、お話しましたように手術を伴うため様々な制約があり、誰でもが受けられるわけではありません。十分な検査、診断のもと慎重に慎重に症例を選ぶ必要があります。

またインプラントが骨に結合するまでかなりの治療期間を要します。

そして治療後の「口腔清掃」、「メンテナンス」が極めて重要です。インプラントを長期間良好な状態に保つにはこの二つにかかっているとんでも過言ではありません。

通常のインプラント治療は健康保険が適用されないので、すべて自己負担となり、治療費は高額となります。

以上のことを考えるとインプラント治療を希望される患者さんは、歯科医師の説明を十分に受けられて納得されたうえでの治療をお勧めします。

お問合せ先：津山市健康増進課 TEL 0868-32-2069

